



7年産米生育状況(全米販調べ)



【生育】茨城は、いまだ茎数不足生育は、県央の水戸市(6月19日現在)、
県南の龍ヶ崎市(6月16日現在)とも茎数不足が引き続き目立っている。

○ 茨城の7年産水稻生育 (水戸市・6月19日現在)

○ 茨城の7年産水稻生育 (龍ヶ崎市・6月16日現在)

	5月1日移植 (幼穂分化期)			5月9日移植 (最高分け時期)
	あきたこまち	ふくまるSL	コシヒカリ	コシヒカリ
生育遅速	平年並	1日早	1日早	2日早
草丈	やや長い (+ 7%)	並 (▲ 1%)	並 (▲ 2%)	長い (+ 21%)
茎数	少ない (▲ 18%)	少ない (▲ 16%)	少ない (▲ 18%)	やや少ない (▲ 5%)
葉数	並 (+ 0.1)	並 (+ 0.2)	並 (+ 0.2)	やや早い (+ 0.5)
葉色 (SPAD値)	やや濃い (+ 1.2)	やや濃い (+ 1.9)	やや濃い (+ 1.3)	やや濃い (+ 1.2)

	4月24日移植 (節間伸長開始期)			5月7日移植 (最高分け時期)
	あきたこまち	ふくまるSL	コシヒカリ	コシヒカリ
生育遅速	2日早	平年並	1日早	平年並
草丈	並 (+ 4%)	やや長い (+ 8%)	やや長い (+ 8%)	並 (+ 1%)
茎数	少ない (▲ 13%)	少ない (▲ 13%)	やや少ない (▲ 9%)	やや少ない (▲ 9%)
葉数	やや早い (+ 0.5)	並 (+ 0.1)	並 (+ 0.2)	並 (▲ 0.1)
葉色 (SPAD値)	やや濃い (+ 1.0)	並 (+ 0.4)	並 (+ 0.8)	やや薄い (▲ 1.4)

佐賀県七タコシヒカリ生育情報

6/18現在、穂ばらみ期を迎えています
(穂ばらみ期とは4～5割程度の穂が出
穂した時期のこと)
イネが完全に出穂してから約30日程
度、積算温度で約900～1,000℃程度
に達すると収穫のサインです。
もうすぐですね。もうしばらくお待ちく
ださい。

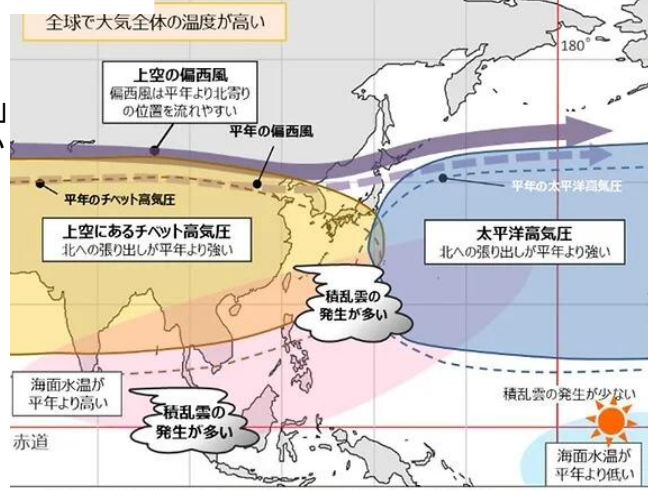
注) 下段カッコ内は平年値との比較。

■2025年梅雨明けは九州～東北で7月上旬予想

日本気象庁協会は、2025年6月19日に第1回「2025梅雨入り予想」
を発表。太平洋高気圧が早い時期から強まり、梅雨明けは九州から
東北にかけて平年よりかなり早く「7月上旬」となる。早い時期から
強烈な日差しと猛烈的な暑さが続く見込。2025年の梅雨明け予想
「7月上旬」。

ダブル高気圧の影響で、厳しい暑さとなる予想。

この夏は、太平洋高気圧とチベット高気圧の北への張り
出しが強く、全国的に気温は平年を上回り、酷暑となる
予想。9月になっても厳しい残暑が続くそうです。7月前
半から平年に比べ曇りや雨の日が少ない。



■梅雨の原因は気団同士の喧嘩

梅雨は日本の上空に「**梅雨前線**」と呼ばれる停滞前線が
生じることで起こります。そして、この梅雨前線の発生に
関係しているのが「**オホーツク海気団**」と「**小笠原気団**」。
ふたつとも海上で発生する湿った気団で、5～6月ごろは
寒冷なオホーツク海気団と温暖な小笠原気団がぶつかり
合い、ふたつの気団の間に梅雨前線が発生。まさに、気
団同士の喧嘩のようなもの。
そして7～8月になると徐々に小笠原気団の勢力が強くな
り、本格的な夏になります。

